



# おうみはちまんエコ通信

4号

○「白鳥川の景観を良くする会」を取材しました!

活動内容は、白鳥川堤防の草刈り・植樹・自転車道の清掃・春にぼんぼりの点灯・5月はこいのぼりの川渡し・秋には小学生への自然学習会など多岐にわたります。今回は、その中でも一番活動頻度の高い堤防の草刈りを紹介します。

白鳥川の法面は背の高い植物や長い草が多く、草刈りをするのも一苦勞です。

そこで活躍するのが、自走式の草刈り機です。

従来の肩掛け式の草刈り機では、刈った後の草が残りますが、自走式草刈機は草を粉碎しながら刈るため、刈り跡が綺麗になり、その後の処置も不要です。

そんな大活躍の自走式草刈機にも天敵がいます。

それは、不法投棄やポイ捨てによる「ごみ」です。

自走式草刈機が運転中にごみを巻き込むと、動作が止まってしまい、故障の原因にもなってしまいます。

**ポイ捨ては絶対にやめましょう!!**



↑ごみを巻き込んで止まる草刈り機



↑自走式は刈り跡がとてもきれい

## 代表の吉田さん

この会の活動目的のひとつに、メンバーの健康づくり・生きがいづくり・仲間づくりの3つがある。

一人でやると危ない作業だが、みんなやると元気になるので、福祉に頼らない、いつまでも元気なシニアづくりを目標に頑張っている。

また、この流域が市民のいこいの場になれば…と想っている。桜ぼんぼり祭りや、こいのぼりなどは病院からもよく見え、少しでも入院されている方の癒しの場になるように努力をしている。

しかし、作業区間が約5kmあり、全区間をやりきるのに2〜3か月もかかるため、はじめに作業した所はまた雑草が伸びてしまい、いちごっこのようになってしまう。それでもこの活動を続けているのは、十数年前に女性の方が茂みで待ち伏せされ、襲われそうになるという未遂事件がきっかけになっているから。

小学生の通学路にもなっているこの白鳥川流域を、市民の方が安心して過ごせ、未来の子供たちに良い自然景観が残せる場所となるように、今後も景観隊活動を続けていきたい。

活動日 .. ①第1・3・5水曜日 / ②毎週土曜日

活動場所 .. 白鳥川流域 (区間: JR線くびわ湖岸付近)

連絡先 .. 0748-36-8457 (担当: 吉田)



↑サイクリングロードも快適に



↑法面はかなり深い茂み(作業前)